



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月30日

上場会社名 J C Rファーマ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4552 URL <https://www.jcrpharm.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名） 藺田 啓之
問合せ先責任者 （役職名）常務執行役員経営戦略本部長 （氏名） 伊藤 洋 TEL 0797(32)1995
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	9,700	13.2	△2,103	—	△2,084	—	△1,907	—
2026年3月期第1四半期	8,569	5.2	△606	—	△749	—	△546	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 △2,510百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 388百万円（△11.8％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△15.64	—
2026年3月期第1四半期	△4.48	—

（注）2026年3月期第1四半期及び2027年3月期第1四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	106,400	43,632	40.6
2026年3月期	109,236	47,359	42.9

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 43,170百万円 2026年3月期 46,868百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		10.00	—	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	45,700	13.3	1,100	98.2	500	△57.1	200	△90.8	1.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2027年3月期1Q	129,686,308株	2026年3月期	129,686,308株
2027年3月期1Q	7,656,978株	2026年3月期	7,693,402株
2027年3月期1Q	122,015,899株	2026年3月期1Q	121,844,856株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

①当期の経営成績

売上高は97億円（前年同期比13.2%増）となりました。

ムコ多糖症Ⅱ型治療剤「イズカーゴ。点滴静注用10mg」が好調に推移し、契約金収入が増加した結果、ヒト成長ホルモン製剤「グロウジェクト®」は減収となりましたが、売上高は前年同期に比べて11億30百万円の増収となりました。

また、積極的な研究開発活動の結果、グローバルな臨床開発の進展により研究開発費は75.9%増加し58億88百万円（前年同期比25億40百万円増）となりました。

これらの結果、21億3百万円の営業損失（前年同期は6億6百万円の営業損失）、20億84百万円の経常損失（前年同期は7億49百万円の経常損失）を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は19億7百万円（前年同期は5億46百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となり、いずれも前年同期に比べて減益となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	増減
	金額(百万円)	金額(百万円)	%
売上高	8,569	9,700	13.2
営業損失(△)	△606	△2,103	—
経常損失(△)	△749	△2,084	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△546	△1,907	—

②主な売上

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	増減
	金額(百万円)	金額(百万円)	%
ヒト成長ホルモン製剤 グロウジェクト®	4,495	3,744	△16.7
ムコ多糖症Ⅱ型治療剤 イズカーゴ。点滴静注用	1,562	1,669	6.8
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注「JCR」	897	748	△16.6
ダルベポエチンアルファBS注「JCR」	122	183	50.1
	775	565	△27.1
再生医療等製品 テムセル®HS注	845	721	△14.6
ファブリー病治療薬 アガルシダーゼベータBS点滴静注「JCR」	426	256	△39.9
製品計	8,226	7,139	△13.2
契約金収入	106	1,474	—

③研究開発の状況

[ライソゾーム病治療薬]

- ・当社では現在、17種類を超えるライソゾーム病治療薬について、独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo[®]」を適用した新薬の研究開発に重点的に取り組んでおります。
- ・血液脳関門通過型ハンター症候群治療酵素製剤パピナフスプ アルファ（開発番号：JR-141）については、現在、グローバル臨床第3相試験を実施しております。試験の進捗は順調であり、目標症例数の組入れを達成いたしました。また、新薬承認申請の戦略について協議をするため、2025年6月に米国食品医薬品局（FDA）とミーティングを行いました。その後も継続して規制当局との協議を行っております。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症Ⅰ型治療酵素製剤lepunafusp alfa（開発番号：JR-171）については、日本・ブラジル・米国での13週間の臨床第1/2相試験およびその継続試験を完了いたしました。当該品目については、自社開発ではなくライセンスアウトにより開発を進める方針であり、パートナー候補との導出交渉を進めております。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症ⅢA型治療酵素製剤posnafusp alfa（開発番号：JR-441）については、ドイツにて臨床第1/2相試験が進行中であり、予定していた症例登録を完了いたしました。日本で実施中の臨床第1相試験についても、目標症例数の登録を完了し、試験は順調に進捗しております。なお、2022年1月に欧州委員会（EC）より、2023年12月にFDAより、そして2024年12月に厚生労働省より、オーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）の指定を受けております。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症ⅢB型治療酵素製剤（開発番号：JR-446）については、2023年9月に株式会社メディパルホールディングスと、海外における事業化についての実施許諾契約および日本における共同開発・商業化契約を締結いたしました。2024年12月に日本国内において臨床第1/2相試験での治験薬投与が開始されました。また、2025年4月にはFDAより、2025年6月にはECより、そして2025年9月に厚生労働省より、オーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）の指定を受けております。FDAにグローバル臨床第1/2相試験のIND申請（新薬臨床試験開始申請）を提出し、現在、治験開始に向けた準備を進めております。
- ・J-Brain Cargo[®]を適用したその他の開発品目であるフコシドーシス治療薬候補（開発番号：JR-471）については、2022年10月に締結した実施許諾契約に基づき、株式会社メディパルホールディングスに対し、日本を除く全世界における研究・開発、製造および販売などの事業化に関する再実施許諾権付の独占的实施権を許諾いたしました。現在、当該疾患の自然歴データを収集する目的で臨床研究が行われております。さらに2025年8月には、同社との間で、GM2ガングリリオシドーシスに対する治療薬候補（開発番号：JR-479）の海外における事業化についての実施許諾契約および日本における共同開発・商業化契約を締結いたしました。

[ヒト成長ホルモン製剤]

- ・長時間作用型遺伝子組換えヒト成長ホルモン製剤redalsomatropin alfa（開発番号：JR-142）については、小児成長ホルモン分泌不全性低身長を対象疾患として日本国内において臨床第3相試験を実施中であり、患者登録を完了いたしました。なお、臨床第2相試験の継続試験は引き続き実施中であります。
- ・販売中の製品「グロウジェクト[®]」について、小児成長ホルモン分泌不全性低身長症患者を対象とした臨床第3相用量比較試験を日本国内において開始いたしました（開発番号：JR-401G）。これは、同疾患に対する日本と海外との用法用量のギャップを埋めることで、日本における成長ホルモン治療後の最終身長のさらなる改善や生活の質向上を期待するものであります。

[デュシェンヌ型筋ジストロフィー治療薬]

- ・当社は2025年12月にデュシェンヌ型筋ジストロフィー治療薬givinostat（欧米での販売名：Duvyzat[®]）の日本における開発および商業化についての独占的ライセンス権をItalfarmaco社から取得いたしました。海外で実施された臨床試験成績を主要な根拠として、2026年内に日本における本薬の製造販売承認申請を行う予定であります。

[基盤技術の創出]

J-Brain Cargo®

- ・JCR独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo®」について、様々なモダリティへの応用可能性を広げる研究を進めるほか、技術の導出に注力しております。2025年7月、血液脳関門通過型アルツハイマー病治療薬の開発を目指して、Acumen Pharmaceuticals社へのJ-Brain Cargo®技術導出に関するライセンスのオプション契約を締結し、同社は2026年6月にオプション権を行使いたしました。

JUST-AAV

- ・J-Brain Cargo®技術に続く新たな基盤技術の創出に注力しており、その成果のひとつとして、アデノ随伴ウイルスベクターを用いた新しい遺伝子治療技術「JUST-AAV」を創出いたしました。特定の組織へと効率的にベクターを送達できるだけでなく、肝臓へのベクターの集積を低減することで副作用の軽減も期待され、新たなプラットフォーム技術として開発を進めております。この技術に関連して、2023年12月より株式会社モダリスと本技術を用いた新規遺伝子治療の開発に向けた共同研究を開始し、2025年1月に本共同研究において初期の技術コンセプトの検証を達成したため、新たな共同研究契約を締結いたしました。また、2025年7月に新規遺伝子治療用製品の開発を目的として、アレクシオン・アストラゼネカ・レアディージェズ社にJUST-AAV技術を導出するライセンス契約を締結いたしました。

[その他]

- ・2025年12月に、Italfarmaco社と希少疾病治療薬についての戦略的提携についての契約を締結いたしました。これにより、両社のポートフォリオの拡充を目指すとともに、当社の研究開発パイプラインおよび基盤技術における共同の機会を探求いたします。
- ・バイオ医薬品の研究開発および基盤技術の創出を促進するため、神戸医療産業都市のクリエイティブラボ神戸内に新たな研究拠点「先進バイオ医薬研究所」を設置いたしました（2026年4月1日付で稼働）。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は1,064億円（前連結会計年度末比28億36百万円減）、負債合計は627億67百万円（前連結会計年度末比8億90百万円増）、純資産合計は436億32百万円（前連結会計年度末比37億26百万円減）となりました。

流動資産は、売掛金及び契約資産が増加した一方で、現金及び預金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ23億26百万円減少して537億50百万円となりました。固定資産については、投資有価証券が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ5億10百万円減少して526億49百万円となりました。

流動負債は、短期借入金および賞与引当金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ12億28百万円増加して493億63百万円となりました。固定負債は、長期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ3億37百万円減少して134億3百万円となりました。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上および配当金の支払があったことなどにより、前連結会計年度末に比べ37億26百万円減少して436億32百万円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.3ポイント低下して40.6%となりました。

グローバルで持続的な成長を行うため、当社グループは機動的かつ安定的に資金調達手段を確保する必要があり、各金融機関との間で、バックアップラインとして運転資金を確保する事を目的として、総額495億円のコミットメントライン契約を締結しております。

なお、このうち265億円については、新製剤工場の建設に関する資金調達のために締結したものであります。この新製剤工場の建設は、経済産業省「ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業」に採択されており、同事業における補助金を用いて当該建設を行います。当コミットメントライン契約につきましても、補助金受領までの必要資金に充当することを目的としたものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は前年同期比で増収減益となりましたが、これは期初予想の範囲内の結果であり、2027年3月期の業績予想に関しましては、2026年5月13日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2026年 6 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,007	9,661
売掛金及び契約資産	14,163	15,688
商品及び製品	2,117	2,203
仕掛品	6,908	7,726
原材料及び貯蔵品	15,016	14,535
その他	3,864	3,936
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	56,076	53,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,598	6,490
土地	11,029	11,029
建設仮勘定	19,411	19,258
その他（純額）	2,204	2,172
有形固定資産合計	39,244	38,951
無形固定資産		
特許権	1,604	1,535
その他	992	977
無形固定資産合計	2,596	2,512
投資その他の資産		
投資有価証券	7,833	7,237
その他	3,489	3,952
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	11,318	11,186
固定資産合計	53,160	52,649
資産合計	109,236	106,400
負債の部		
流動負債		
買掛金	523	671
短期借入金	41,692	42,092
賞与引当金	1,136	1,798
役員賞与引当金	125	157
その他	4,658	4,644
流動負債合計	48,135	49,363
固定負債		
長期借入金	12,200	11,850
従業員株式給付引当金	129	122
退職給付に係る負債	914	941
圧縮未決算特別勘定	245	245
その他	252	244
固定負債合計	13,741	13,403
負債合計	61,877	62,767

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2026年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	10,378	10,388
利益剰余金	31,226	28,096
自己株式	△4,969	△4,946
株主資本合計	45,697	42,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	438	△174
繰延ヘッジ損益	△2	△2
為替換算調整勘定	533	558
退職給付に係る調整累計額	200	188
その他の包括利益累計額合計	1,170	570
新株予約権	72	46
非支配株主持分	417	415
純資産合計	47,359	43,632
負債純資産合計	109,236	106,400

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	8,569	9,700
売上原価	2,357	2,249
売上総利益	6,212	7,450
販売費及び一般管理費	6,818	9,554
営業損失(△)	△606	△2,103
営業外収益		
受取利息	9	7
受取配当金	20	16
為替差益	—	64
受取補償金	33	159
その他	10	14
営業外収益合計	74	261
営業外費用		
持分法による投資損失	45	45
支払利息	79	157
その他	93	39
営業外費用合計	218	242
経常損失(△)	△749	△2,084
特別損失		
固定資産処分損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△751	△2,084
法人税、住民税及び事業税	2	5
法人税等調整額	△182	△171
法人税等合計	△180	△166
四半期純損失(△)	△570	△1,918
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△24	△10
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△546	△1,907

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△570	△1,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,035	△613
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△72	32
退職給付に係る調整額	△3	△12
その他の包括利益合計	959	△592
四半期包括利益	388	△2,510
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	431	△2,508
非支配株主に係る四半期包括利益	△42	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは「医薬品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	738百万円	517百万円